

国臨協関信支部

埼玉地区会だより

埼玉地区会長就任挨拶

小沼 進吉

臨時施設派遣での検査業務を経験して

狩野 将輝

2022 年

No. 3

会長就任挨拶



国臨協関信支部

埼玉地区会長

NHO東埼玉病院

小沼 進吉

関信支部埼玉地区会会員の皆様におかれましては地区会活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。令和4年9月に開催された第9回定期総会（書面表決）において会長に選任されました東埼玉病院の小沼でございます。もとより微力ではございますが、皆様からのご協力を仰ぎながら会務を進めていければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。さて、新型コロナウイルス感染症は今や3年目に入ろうとしています。第7波の後、政府はWithコロナに向けた「変化する新型コロナウイルスの特性を踏まえ、できる限り感染防止と社会経済活動の両立を実現していくため対応を加速させていく」考えを示しました。現在、第8波に突入している状況ではありますが、感染症法上の位置付けを2類相当から5類へと大きく舵を切ろうとしています。検査部門では補助金を利用した感染症対策の整備がなされ、抗原定性・定量、核酸検出と院内検査の対応が進み、精度の確保も並行して行われている状況です。検体採取、ワクチン接種の打ち手といった業務、医師の働き方改革にも寄与するタスクシフト・シェアの推進等、今後も検査技師を取り巻く環境は目まぐるしく変化していくことが推察されます。また、WEBを利用した会議、オンデマンド配信による研修・自己研鑽そしてICTを活用した教育など有効な手段は多く利用されるようになりました。ある意味、有効に時間を活用できるようになったとも思えます。地区会活動にこれらを活用できているのかと問われれば、できていないのが実情です。集合形式を基本に考えますが、状況に応じた地区会活動を推進できるよう、会員の皆様と情報交換・共有できるよう役員一同協力して会務に取り組んでいきたいと思っています。まずは総会で承認された事業内容について粛々と進めていきたいと考えております。

なお、会員皆様からのご意見ご要望そして情報提供等がありましたら遠慮なく各施設の理事までお声掛けいただければ幸いです。

最後になりましたが、埼玉地区会の益々の発展と会員皆様のご健勝とご活躍を祈念いたしまして挨拶いたします。

臨時施設派遣での検査業務を経験して

9月9日から9月30日までの22日間、新型コロナウイルス感染症のため、NHO 東京病院内に設置された東京都臨時医療施設の派遣に参加させて頂きました。臨時施設は2病棟あり各50床と合計で100床からなる大きさです。施設内は病室内の陰圧や感染エリアごとの色分けとなっており、患者さんと接する時にはPPE着用などの感染予防対策がとられていました。検査技師の主な仕事は採血と心電図です。午前は臨時施設と東京病院の外来の採血、午後は両施設の心電図を担当しました。私が参加した時は既に1病棟閉鎖しており、患者さんも25人程でした。そのため臨時施設では採血を担当することはありませんでした。一方、心電図は一日に1～4人程検査することがありました。入院患者の多くは認知症や介助が必要な方が多く、特に意思疎通ができず、勝手に動いてしまう患者さんの心電図をとるのには大変苦労しました。また、検査時はPPEを着用していたため、毎日汗だくで検査対応していました。今回の派遣は沢山の医療スタッフに支えられながら、業務を終えることができました。特に看護師さんには心電図のお手伝いなど、沢山助けて頂きました。派遣を通して、多職種と協力し、医療を提供することは大事だと実感しました。この経験を活かし将来立派な検査技師になれるよう精進したいと思います。最後になりますが、本派遣の機会を下さった前島専門職、ご指導いただいた永井技師長をはじめ、東京病院の検査科スタッフの方々に御礼申し上げます。



NHO埼玉病院

狩野将輝



<「臨時施設派遣での検査業務を経験して」の実際の写真>



PPEの着用



心電図検査



臨時施設外観